

# 医学科教育学修プログラム

令和7年度

5・6年次

## 【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

## 【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00



医学科コンピテンシ・コンピテンシーマトリックス表

凡例	高度 Advanced	A	4年																	臨床実習前の到達度	4年	5年	6年	卒業時の到達度			
			科目名																								
			法医学	社会医学 学 チ ュ ー ト リ ア ル ・ 実 習	皮膚科学	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	産科学	臨床成長・ 発達学	臨床感染症学	総合感染症学・ 実習	臨床腫瘍学	免疫・ アレルギー	老年医学	麻酔科学	救急医学	医療情報学	PBL チ ュ ー ト リ ア ル	臨床実習入門	地域医療体験						臨床地域医療学	臨床医学特論	
単位	1	2.5	1	1	1.5	3	1.5	1	0.5	1	0.5	1	1	1	1	3	4	1	0.5	1.5	5	30	18				
<b>I 倫理・プロフェッショナリズム</b> ・責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 ・患者の利益を重視する患者中心の医療を修得し、実践できる。 ・生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。																											
1 医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	B	C	C	C	B	B	B	A	A		
2 利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断できる。	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	E	E	C	B	B	B	A	A	
3 患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。	C	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	C	C	C	B	A	A	A	A		
4 患者中心の医療について理解し、実践できる。	E	C	F	F	F	F	F	F	F	E	F	E	F	F	E	C	E	B	C	C	C	B	B	B	A	A	
5 内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を維持向上することができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	B	F	C	C	C	B	B	B	A	A
6 社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
7 社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	E	F	E	F	E	C	E	B	C	C	C	C	B	A	A	A	A	
8 患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受け入れることができる。	E	C	F	F	F	F	F	F	F	C	F	C	F	C	C	F	B	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
9 同僚や先輩との間で、診療に関する知識や技能を教えあつて共有できる。	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	C	E	E	B	B	B	A	A	
10 様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	E	E	E	B	B	B	A	A		
<b>II コミュニケーション</b> ・思いやりや心共感の理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。 ・障害者とコミュニケーションし、地域フィールドの中でコミュニケーションしつづける能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。 ・情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。																											
1 患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	D	C	F	B	B	C	F	B	B	B	A	A	
2 医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	D	C	E	B	C	F	F	B	B	B	A	A	
3 患者や家族のニーズや苦悩等と手話等でのコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	C	F	F	F	B	B	B	A	A
4 地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性や身につけ良好な関係を築くことができる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	B	C	F	B	B	B	A	A	
5 安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	C	C	C	D	C	B	B	B	A	A	
<b>III チーム医療</b> ・他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を修得し、実践できる。																											
1 医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連携を行うことができる。	F	B	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	D	C	F	C	F	F	F	B	B	B	A	A	
2 他の医療専門職を指導する学生と交流し、それぞれ異なる価値観があることを認識し、受け入れることができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	C	F	F	F	C	A	A	A	A	
3 他の医療専門職との連携を実践できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	F	C	C	F	F	C	B	B	B	A	A
<b>IV 医学の知識</b> ・最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を修得して、応用できる。 ・医療安全の基礎を学び、予防対策を講じることができる。																											
1 物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に活用できる。	D	F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	E	B	D	D	D	B	B	B	A	A
2 人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を修得して、病態の理解に応用できる。	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	D	D	B	B	B	A	A
3 人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用できる。	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	D	D	B	B	B	A	A
4 診療に関する基本的知識と技能を修得して、臨床実習に実践・応用できる。	F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	B	B	D	D	B	B	B	A	A
5 ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づく医療（EBM）を実践できる。	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	C	C	B	B	E	D	B	B	B	A	A
6 薬学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性に関する知識を修得して、地域で応用できる。	D	B	F	F	F	F	F	F	E	E	E	E	E	D	E	D	C	F	B	B	D	D	B	B	B	A	A
7 医療安全の知識を修得して、患者や医療従事者に起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。	D	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	F	B	E	D	D	B	A	A	A	A	
<b>V 診療の実践</b> ・診療に必要な症状・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。 ・総合的診療および全人的医療の能力を修得し、実践できる。																											
1 早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践的に示すことができる。	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	B	E	E	E	C	B	B	B	A	A
2 適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	D	F	B	B	C	F	B	B	B	A	A	
3 身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をとり、病状を判断できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	D	E	B	B	C	F	B	B	B	A	A
4 病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結果を解釈できる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	B	B	C	C	B	B	B	A	A	
5 病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論を行い、疾患を診断することができる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	B	B	C	C	B	B	B	A	A	
6 適切な治療計画を立案することができる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	B	B	C	C	B	B	B	A	A	
7 診療録や医療文書を適切に作成できる。	C	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	B	E	F	F	B	B	B	A	A	
8 病状説明や患者教育に参加できる。	E	C	F	F	F	F	F	F	C	F	F	F	F	F	D	D	F	B	B	C	C	B	B	B	A	A	
9 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	B	F	F	F	B	B	B	A	A	
<b>VI 知的探究と創造性</b> ・常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の境地で言葉されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。 ・イノベーションの重要性を理解して、実践できる。																											
1 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	B	C	E	C	B	B	B	A	A	
2 医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組みることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	B	F	F	F	D	B	B	B	A	A
3 データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	F	F	F	F	D	B	B	B	A	A
4 臨床的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーションリサーチの可能性について探索できる。	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	B	F	F	C	B	B	B	A	A	
5 創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に応用できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F	E	C	C	B	B	B	A	A
6 医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	F	F	E	C	C	B	B	B	A	A	
<b>VII 国際性</b> ・グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。																											
1 英語を母国語とする人と対話ができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	E	E	B	
2 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信できる。	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	F	F	F	F	C	B	B	A	A	
3 診療英会話を修得して、実践できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	E	E	F	E	E	C	E	E	E	B	
4 国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。	E	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	B	B	B	B	A	
<b>VIII 地域医療</b> ・地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。																											
1 地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C	B	A		
2 地域医療に必要なプライマリケアの考え方や技能を修得し、基礎的事項を実践できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	E	D	D	C	D	C	B	A		
3 地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献できる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	E	D	D	D	D	B	A		

# 医学科5・6年次目次

## 5年次通年

区分	授業科目名	科目責任者
必修 専門科目	臨床実習Ⅰβ	植木 賢 : 1 ~ 2

## 6年次通年

区分	授業科目名	
必修 専門科目	臨床実習Ⅱ	谷口晋一 : 3 ~ 4

※臨床実習Ⅰβ・Ⅱの詳細については、オリエンテーションで配布する手引きを参照してください。

## 授業基本情報 / Course base information

科目コード /Subject Code	M7208073	ナンバリング /Subject Code	
科目名 /Subject Name	臨床実習 I β		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	植木 賢, 花木 武彦		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	5	開講時期 /Lectures Target	通年
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5, 木 1, 木 2, 木 3, 木 4, 木 5, 金 1, 金 2, 金 3, 金 4, 金 5	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	実験実習	単位数 /Lecture Form	28.5
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			

## 授業概要情報 / Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	植木 賢(学部教育支援室長)
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員(臨床実習生(医学))として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クラークシップと呼ばれる。クリニカル・クラークシップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしかりと理解しておかなければならない。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。
キーワード /Keywords /4000文字以内	「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。
到達目標 /Objectives /4000文字以内	患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。 基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科の治療を学ぶ。 基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	

<p>教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内</p>	<p>「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p>	
<p>授業の形式 /Classwork /4000文字以内</p>	<p>実習</p>	
<p>成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内</p>	<p>全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。</p>	
<p>担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内</p>	<p>正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない。</p>	
<p>授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内</p>	<p>授業内容: 第一内科診療科群、第二内科診療科群、第三内科診療科群、精神科、小児科、第一外科診療科群、心臓血管外科、胸部外科診療科群、整形外科、泌尿器科、眼科、頭頸部診療科群、放射線診療科群、女性診療科群(産科婦人科)、救急科、神経内科、脳神経外科、の17診療科を各2週間ずつ、皮膚科、麻酔診療科群、血液内科(臨床検査医学)、脳神経小児科、病理診断科、感染症内科、地域医療の7診療科を各1週間ずつ、歯科口腔外科及び形成外科を併せて1週間の全42週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p> <p>予習・復習内容: 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照にして、教科書等をよく読み事前に調べておくこと。実習後も理解を深めるために復習に励むこと。</p> <p>担当者: 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。</p> <p>期間: 詳細は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p>	
<p>教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内</p>	<p>現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)</p>	
<p>ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内</p>	<p>1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている</p>	
<p>実務経験 /Work experience /2者択1</p>	<p>有</p>	
<p>実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内</p>	<p>現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。</p>	

## 授業基本情報/Course base information

科目コード /Subject Code	M7208063	ナンバリング /Subject Code	MMCLC4302
科目名 /Subject Name	臨床実習Ⅱ		
英文科目名 /Subject English Name			
担当教員 /Teacher Name	谷口 晋一, 孫 大輔, 山崎 章, 植木 賢, 花木 武彦, 李 瑛		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	6	開講時期 /Lectures Target	通年
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目
曜日・時限 /Week・Hour	月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5, 木 1, 木 2, 木 3, 木 4, 木 5, 金 1, 金 2, 金 3, 金 4, 金 5	単位区分 /Week・Hour	必修
授業形態 /Lecture Form	実験実習	単位数 /Lecture Form	18.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note			

## 授業概要情報/Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	谷口 晋一(地域医療学)
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員(臨床実習生(医学))として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クラークシップと呼ばれる。クリニカル・クラークシップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしっかり理解しておかなければならない。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。
キーワード /Keywords /4000文字以内	「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。
到達目標 /Objectives /4000文字以内	患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。 基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科の治療を学ぶ。 基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	

教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。	
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	実習	
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。	
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない	
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	授業内容: 鳥取大学医学部附属病院の診療科あるいは大学が指定する学外施設から実習科・実習施設を選択し、計24週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。 予習・復習内容: 各専門分野の疾患の診断・治療について推奨されたテキストで予習復習をおこなうこと。 担当者: 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。 期間: 24週 詳細は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)	
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている	
実務経験 /Work experience /2者択1	有	
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。	